



校長室便り

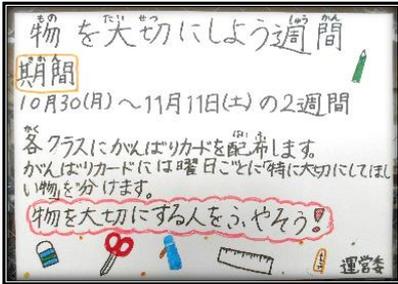
南の風を感じて

倉敷市立琴浦南小学校

平成29年11月2日

No.14

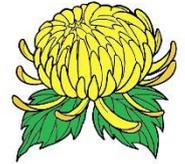
自ら考えて行動 →→→ 心豊かに成長！



10月30日から11月11日の2週間を「物を大切にしよう週間」として、各クラスでくつや筆記用具、給食の食器などを大切に扱い、よくできたクラスを表彰しようという取り組みを行っています。

この取り組みは、運営委員会の子どもたちによる企画で、自分たちの学校を自分たちの手でよりよくしようという思いや、物を大切にすることを育むことで、「美しい学校」に近づくことができるようにしようという考えから実施しているものです。運営委員会の子どもたちの呼びかけにより、他の委員会の子どもたちも関連したポスターの製作や呼びかけを行い、学校全体でこの取り組みを進めようがんばっています。

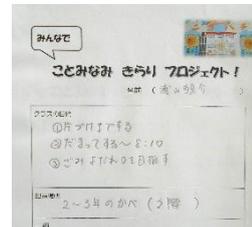
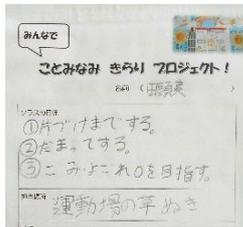
学校をさらによくするために ～きらりプロジェクト～



6年生の子どもたちが、琴浦南小学校のきらり（よいところ）を見つけ、さらにそのきらりを広げていこうと「ことみなみ きらり プロジェクト」を行っています。

草抜きや壁そうじなど学校をよりよくするために、自分たちの手で何ができるかを考えて、自ら決めた活動を水曜日の朝に実践しています。

低学年の子どもたちのよいお手本になっています。



子どもたちが考え出した企画がこのように実際に動き出し、みんなのため、学校のためにがんばる姿が多く見られはじめたことをたいへんうれしく思っています。

子どもたちがこうした活動に取り組むことで達成感を味わえるよう、私たち大人がしっかりサポートしていきたいものだと考えています。

苦労した稲刈り・・・ その後の充実感

11月1日、5年生が稲刈りを行いました。6月の田植えに始まり、夏の観察や水の調整、そして、実った稲の穂を狙うたくさんのスズメとの戦いを経て、稲刈りの日を迎えました。



今年は雨が長く続いたため、土がぬかるんでいて、作業はとても難しくたいへんでした。服やくつが汚れることを気にして、なかなか進んで取り組めない子もいましたが、次第に目の色が変わり、本気で稲刈りをやり遂げました。鎌の使い方を教えあったり、刈り取った稲を助け合って干したりしながら、作業の大変さを体験することができました。また、友だちと協力することの大切さも学びました。

子どもたちからは、「楽しい」という声も聞かれるようになり、体験を通して成長していく姿がそこにありました。